

かすかべのうりんナビ

事業を活用して野菜の生産性向上！



埼玉野菜プレミアム産地づくり事業で
機械化が進み、労働力が大きく削減できて
良かったです。
今後はさらなる面積拡大を目標に、
ねぎ栽培に取り組んでいきます。

【目次】

- ①P ・ 県単野菜事業の紹介
～事業を活用して生産性向上！～
・ S-GAP実践農場が新たに誕生しました！
- ②P ・ 越谷市の特産品『くわい』の生産振興
・ 隠れた特産品 『丸系八つ頭』の生産振興支援
- ③P ・ 下八間堀悪水路（吉川市、松伏町）の改修が始まります
～湛水防除事業 下八間堀地区～
・ 「緑のヘルシーロード」 ・ 「水と緑のふれあいロード」

発行 埼玉県春日部農林振興センター

〒344-0038 春日部市大沼1-76

電話：048-737-2134 FAX：048-734-1344

<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0908/index.html>

埼玉県農林部関係
フェイスブック

「元気いっぱい!!埼玉農林業」

<https://www.facebook.com/saitama.nourin>





県単野菜事業の紹介 ～事業を活用して生産性向上!～

埼玉県では露地野菜を対象にした「埼玉野菜プレミアム産地づくり事業」、施設園芸を対象とした「施設園芸先端サポート技術導入事業」を実施しています。事業を有効活用し、野菜の生産拡大や労働時間の削減等による生産性の向上に取り組みませんか。

■埼玉野菜プレミアム産地づくり事業

ねぎやキャベツなどの対象品目の機械化一貫体系等に必要な機械・施設の導入を支援しています。

令和元年度には野菜梱包機やGPS内蔵自動走行トラクター、令和2年度にはねぎ収穫機や乗用管理機の導入等、管内での機械化一貫体系の取組を支援しています。

■施設園芸先端サポート技術導入事業（令和2年度新規事業）

いちごやきゅうりなど施設園芸における環境管理や栽培管理の自動化・軽労化等に必要な機械・設備の導入を支援しています。今年度は、高設栽培いちごハウスに統合環境制御装置、養液栽培装置を導入しました。

【お問合せ】 地域支援担当 ☎048-737-2134



▲野菜梱包機



▲いちごハウスに導入した養液栽培装置



S-GAP実践農場が新たに誕生しました！

■S-GAP実践農場の誕生

令和3年1月13日に、JA南彩菖蒲グリーンセンターのいちご観光農園が、JA関連施設として県内で初めてS-GAP実践農場となりました。

■S-GAPに取り組むきっかけ

JAでは意欲的に栽培技術の向上や作業環境の改善に取り組んでおり、同施設は、地域生産者の経営モデルとするため設置されました。

S-GAP取り組みのきっかけは、周辺いちご農家の先駆けとなり、新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底し、お客様に安全安心ないちご狩りを提供したいとの思いがあったからだそうです。

施設の職員からは、「S-GAPの取組により、作業場などをしっかり整理することができた。地域の模範となるよう今後も頑張りたい。」との声が聞けました。

■S-GAP農場評価

S-GAPは、食品安全、労働安全、環境保全の観点から農業者自身が農業経営の中に潜むリスクを確認し、改善を図るもので、評価項目の中には、水道設備の設置・手洗いの励行、体調管理の徹底など感染予防対策にも有効な内容が含まれています。

新型コロナウイルスが、まだまだ大きな影響力を持っている今、皆さんもS-GAPに取り組んでみませんか。

【お問合せ】 地域支援担当 ☎048-737-2134



▲いちご観光農園のみなさん



▲赤いいちご



越谷市の特産品『くわい』の生産振興

■越谷市における『くわい』

『くわい』は、オモダカ科の水生植物です。塊茎から大きな芽が出ることから、“めでたい”として、正月料理などに用いられてきました。くわいが栽培されている地域は全国でも少なく、埼玉県・広島県が産地としては有名で、県内では越谷市、さいたま市、草加市などが主な生産地となっています。

■くわいほ場の生育調査

越谷市では10戸の農家が『越谷くわい研究会』を組織して生産を行っています。

当センターでは、より良い栽培方法を確立していくために、11か所のほ場で生育調査を行い、調査結果や改善点などを検討会等で生産者の皆さんにフィードバックしています。

■くわいの新たな食べ方

当センターでは、くわいをより多くの人に楽しんでもらうため、くわいと最も相性が良いディップ（ソース、タレ）の検討を行いました。12種類のディップの評価は分かれましたが、最終的に、「大学芋のタレ」が1位となりました。くわいで作る大学芋、皆さんも是非、試してみてください！

【お問合せ】 技術普及担当 ☎ 048-737-6311

くわい▼



▲生育調査の様子



▲12種類のディップ（くわいの試食試験）



隠れた特産品 『丸系八つ頭』の生産振興支援

■デコボコしていない八つ頭～丸系八つ頭～

『丸系八つ頭』は、大きくて丸い形の『八つ頭』を選抜した埼玉県オリジナルの八つ頭です。

管内では杉戸町が産地で、11戸の農家が生産組合を組織し栽培しています。

『八つ頭』よりも調理がしやすいため、消費者からの評判も良く、人気上昇中の品目です。

■手頃なサイズを目指して

丸系八つ頭の栽培では、消費者から好まれる800グラム程度の丸い芋を生産することが重要です。

当センターでは杉戸町役場やJA埼玉みずほと連携し、栽培講習会の開催や現地検討会を通じて、重さと形の揃った丸系八つ頭が生産できるよう支援しています。

杉戸町産の丸系八つ頭は12月頃から収穫がはじまり、直売所や県内のイトーヨーカドーで販売しています。季節限定、ホクホクした食感をお楽しみください。

【お問合せ】 技術普及担当 ☎048-737-6311



▲講習会の様子



▲調整した後の姿 調理も簡単



下八間堀悪水路(吉川市、松伏町)の改修が始まります ～湛水防除事業 下八間堀地区～

下八間堀悪水路は、東西を江戸川と中川に挟まれた平坦な水田地帯を流れる農業排水路です。吉川市上内川から松伏町赤岩を通り、吉川市川藤で中川に放流しています。

近年は地盤沈下の進行と放流先である中川の水位上昇の影響で、この地域は度々湛水被害が生じています。このため排水路の改修を行い、農地の湛水被害を軽減し農業経営の安定と暮らしの安全確保を図ります。

予定工期：令和3年度～令和8年度



▲平成27年9月 台風18号通過後の水路の状況

【お問合せ】 整備支援・管理担当 ☎048-737-2112



「緑のヘルシーロード」・「水と緑のふれあいロード」

■遊歩道でリフレッシュ！

見沼代用水路沿いに整備された「緑のヘルシーロード」と「水と緑のふれあいロード」は、埼玉県を縦断する全長約99kmの自転車・歩行者用の遊歩道です。コロナ禍で家で過ごす時間が増えている今、サイクリングや散歩で心身ともにリフレッシュしてみたいはいかがでしょうか。

■素敵な空間を創りましょう

この遊歩道の一部では地域の皆さんが清掃や植栽などを行い、安らぎの空間を創っています。当センターではこうした活動に対して、軍手やゴミ袋を配布するなどの支援を行っています。

ぜひ皆さんもこうした地域の活動に御参加ください。

■御利用の皆さんへ

自転車の方は、歩行者の方に配慮して安全運転をお願いします。また、ごみの不法投棄は犯罪行為となりますので絶対にしないようお願いします。皆さんが安心して楽しむことができるよう、交通ルールとマナーを守って御利用ください。

遊歩道のパンフレットは当センターで配布しております。ホームページでも御覧いただくことができます。ぜひ、御活用ください。



▲ふれあいロード（白岡市地内）

【お問合せ】 整備支援・管理担当 ☎048-737-2112